

インフルエンザの発生状況

この冬、全国でインフルエンザが猛威を振りました。インフルエンザによって、学校や勤務先を休まれた方も多いのではないのでしょうか。今回は、インフルエンザの発生状況について調べました。

厚生労働省の感染症発生動向調査によると、2018-2019年シーズンは、全国では、2018年第49週（12/3～12/9）に流行開始の日安であるインフルエンザ患者定点当たり報告数（※）1.00を超えました。以降増加し、2019年第4週（1/21～1/27）には、1999年の統計開始以降過去最多となる定点当たり報告数57.09（定点医療機関からの総患者報告数28万3388例）を記録しました。（表、図1）

京都府感染症発生動向調査によると、京都府では、2019年第3週（1/14～1/20）に定点当たり報告数51.17（定点医療機関からの総患者報告数6448例）を記録し、今冬シーズンのピークとなりました。図1の推移を見ると、2019年に入ってから著しく早いペースで京都府、全国ともインフルエンザが流行したことがわかります。（表、図1）

また、2019年第3週（1/14～1/20）の定点医療機関報告数を年齢階級別に見ると、京都府、全国と

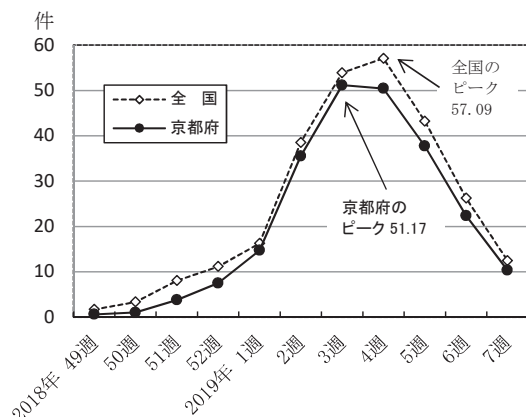
もに20歳未満が全体の6割以上を占めています。

（図2）

3月に入りピークは過ぎましたが、油断せずに引き続き外出後の手洗いやうがいなど、健康管理には十分にお気をつけください。

- ※ 定点当たり報告数：定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数。（定点医療機関とは、各都道府県が指定した医療機関であり、全国で約5000か所指定されている）

図1 インフルエンザ患者定点当たり報告数の推移 2018年第49週～2019年第7週（全国・京都府）



出典：京都府感染症情報センター「京都府感染症発生動向調査」

表 インフルエンザ患者報告数＜定点医療機関＞ 2018年第49週～2019年第7週（全国・京都府）

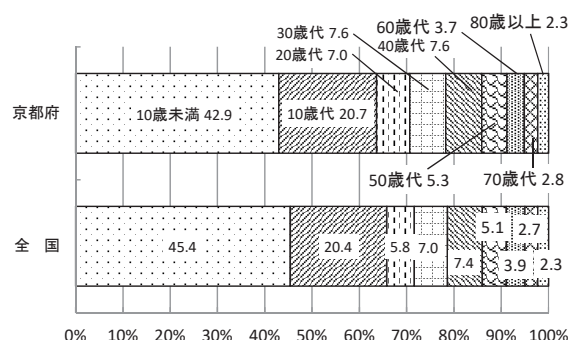
（単位：件）

週	全国	京都府
2018年 49週 (12/3-12/9)	8,438	77
50週 (12/10-12/16)	16,589	131
51週 (12/17-12/23)	39,589	474
52週 (12/24-12/30)	54,517	933
2019年 1週 (12/31-1/6)	78,116	1,810
2週 (1/7-1/13)	190,527	4,437
3週 (1/14-1/20)	267,596	6,448
4週 (1/21-1/27)	283,388	6,355
5週 (1/28-2/3)	214,592	4,754
6週 (2/4-2/10)	129,989	2,818
7週 (2/11-2/17)	61,992	1,307

← 京都府のピーク
← 全国のピーク

出典：厚生労働省「感染症発生動向調査」

図2 年齢階級別 インフルエンザ患者の定点医療機関からの報告割合 2019年第3週【1/14～1/20】（全国・京都府）



出典：京都府感染症情報センター「京都府感染症発生動向調査」